

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
須賀川地方保健環境組合	須賀川市、鏡石町、天栄村	令和 2 年度～令和 6 年度	令和 2 年度～令和 6 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	85t	120t	-100.0%
	総資源化量	3,619t	2,861t	-90.9%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	3,779t	3,359t	-66.7%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

＜ごみ処理＞

●再生利用量

＜直接資源化量＞

- ・令和7年度の実績は120tであり、目標値を達成できたが達成率が低い結果となった。
- ・要因として、目標の割合を現状より低く設定していること、実績値の排出量が減少したことが達成率に影響したのではないかと考えられる。

＜総資源化量＞

- ・令和7年度の実績は2,861t（リサイクル率10.2%）であり、令和7年度目標値を達成できなかった。
- ・目標達成できなかった要因は、紙類回収量の減少である。電子化によるペーパーレスなど生活様式の変化が生じて、減少傾向が顕著となっている。また、少子化による育成会等の廃止で廃品回収を行わなくなったことや、重量のあるビンより重量がないペットボトルの利用が高まり、ペットボトルのリサイクルは増加傾向にあるが、全体で見るとリサイクル率が減少していることも理由のひとつと言える。

●最終処分量

- ・令和7年度の実績は、3,359tであり、令和7年度の目標値を量は達成できたが、排出割合は達成できなかった。
- ・現状と比較して最終処分量の割合は0.2%増加となったが、可燃物の排出量が目標に対して約1,700t減少し、ごみの排出量が減少したため、排出割合が増加した要因と考えられる。最終処分量としては減少しているので、排出割合が達成できるよう、排出量削減に努める。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで

＜ごみ処理＞

一般廃棄物処理基本計画において、今後の要点として「ごみ減量化の推進」「事業系ごみの排出抑制・資源化の強化」「リサイクル率の向上」を掲げており、構成市町村と連携して、目標達成に向けた取り組みを推進することとしている。

また、プラスチック分別事業の開始に伴って、分別量の増加が見込めるため、作業時の対応や事業者への発信にも力を入れることとする。

(都道府県知事の所見)

令和7年4月から構成3市町村がプラスチック分別回収を開始したとのことで、貴組合及び構成市町村の資源回収に対する積極的な姿勢が見られる。「目標達成に向けた方策」のとおり、住民や事業者に対する適正な分別を促す情報発信に注力し、総資源化量の増加、最終処分場の減少を図ることに努められたい。